

edit. 冷温時における固化について

2018年2月6日

タカラベルモント株式会社

ネイル営業部

冷温時に容器内のエディット カラージェル、エディット ファインライナージェルがバターのように固くなって筆が入らなかつたり、攪拌できる柔らかさであってもジェル内に粒状のものが見られるというお問い合わせをいただきました。

当件について調査、検証しましたところ、edit. では冷温状態（8℃以下）で保管するところといった状態が起きやすいということがわかりました。

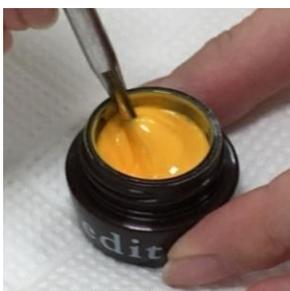
こういった現象が起きるのは、edit. の主成分としているウレタンが冷温時に固くなる性質を持っていることと、また edit. の塗りやすさの一つ、「硬化前、塗布している間にジェルが爪上で縮まない」ために入れている成分がさらに固さを助長するためです。

また、「攪拌不要」を実現するために、顔料や成分が沈殿しないように保管時には容器内のジェルそのものを固く、筆で動かすときにはジェルが再び柔らかくなるように設計していることも影響しています。

こうした設計によって固化及び、固化したジェルが常温に戻る過程において粒状のものが見られることがあります。

この現象はお風呂の温度程度（40℃程度）にジェルを置くことで元通りになりますので、もし固くなったジェルが出た場合は湯せん等で「お風呂の温度」を目安に温めてください。温める時間は量や配合色素によってまちまちになりますので、様子を見ながら温めていただければと思います。

edit. の通常の状態は容器内のジェル表面につやがあり、異物のないなめらかな状態です。



ジェル表面につやがあり、なめらかな状態



固化、粒状が見られる状態

攪拌不要で、爪の上では伸びのいい、塗布中に縮みにくい処方設計上、冷温時には固化等が見られることがありますが、製品の品質異常ではございませんので、当該時期には一手間お掛けしてしましますが安心してお使いください。

以上